

都市整備

コミュニケーションバスの将来展望

齋藤 敦議員(フオ) ①交通空白地域解消のための今後の検討過程は。

②バス会社に対する委託費の考え方は。

③交通空白地域の解消策は。

④過去のデータに基づく不便地域はどのあたりか。

市長 ①総合的な交通体系のあり方懇談会で、公共交通に対する行政と民間との役割分担や費用負担の検討を行う。

②主に人件費等の運行経費と運行収入の差額分を市が負担して、運行を依頼している。

③コミュニケーションバスの路線拡大だけではなく、民間バスやタクシーなども含めた交通体系のあり方について検討していく。

④にじバスのルートを除くと、中島町、上水新町、上水南町、大沼町、花小金井南町、花小金井地域の一部である。

小川駅西口再開発等、小川西町地区のまちづくり

佐野都夫議員(政和) ①小川駅西口再開発の動きと見通しは。

②都市計画道路3・4・21号

▲歩道の拡幅整備が予定されている小川西保育園通り

線の未整備箇所の整備予定は。③小川西保育園通りの整備内容は。

④小川駅西口駅前の、通称小川駅通りの改修予定は。

市長 ①小川駅西口地区再開発協議会が、計画案の検討と未加入関係地権者への働きかけを行うってきた。準備組合設立に向け最大限努力し、今年度に向けては桜を生かす植栽を計画しているが、さらに検討し、その結果をもとに地域住民に相談していきたい。

②今年度末までに整備ができるよう、従前の地権者に対して明け渡しを求めている。

③歩道上の植栽帯を後退させ、車いすが通行できる歩道に整備していく。

④現在、都の整備計画は未定だが、側溝等の補修は随時対応したいとのことである。

花小金井駅前の南北の広場と街路を桜の名勝に

鴨打喜久男議員(政和) ①南北の駅前広場と北口の街路に桜を植えて、桜の名勝として復活させるべきと思いが検討状況は。

②整備予定の16道路の歩道を桜並木にできないか。

③駅前広場のロータリーの真ん中にベンチを置くなどし、市民やグリーンロードを散策する人々が休める場所をつくっては

小平市における都営住宅の現状と課題

佐野都夫議員(政和) ①市内にある都営住宅の数、敷地面積と戸数は。

②建てかえ前後の状況は。

③建てかえに伴い、都と取り交わした協定の内容は。

④都営住宅を区市町村へ移管する動きがあるが、対応は。

市長 ①37か所、約53万平方メートル、5千4百84戸ある。

②昭和54年度から平成15年度までに2千15戸増加している。

③建てかえ戸数を約5千戸とし、事業計画の策定に当たっては、事前に市や関係機関と協議を行うこととしている。



整備が進む花小金井駅北口駅前広場(上)と、16道路(下)どうか。

市長 ①桜は花小金井の代表的シンボルと受けとめ、北口においては桜を生かす植栽を計画しているが、さらに検討し、その結果をもとに地域住民に相談していきたい。

②事前に地域住民の意見を聞き、明るい街路とするために高木は植栽しない計画で進めているが、植樹帯に低木の桜類を植樹するよう提案したい。

③北口広場は面積が小さくスペース的に困難であり、南口もベンチ等を設置した場合、横断歩道が必要となり、安全面から困難と考える。

小平市における都営住宅の現状と課題

佐野都夫議員(政和) ①市内にある都営住宅の数、敷地面積と戸数は。

②建てかえ前後の状況は。

③建てかえに伴い、都と取り交わした協定の内容は。

④都営住宅を区市町村へ移管する動きがあるが、対応は。

市長 ①37か所、約53万平方メートル、5千4百84戸ある。

②昭和54年度から平成15年度までに2千15戸増加している。

③建てかえ戸数を約5千戸とし、事業計画の策定に当たっては、事前に市や関係機関と協議を行うこととしている。

若者の声にこたえる青年政策を

立花隆一議員(公明) ①青年政策をどう考えているか。

②市内の若年無業者の実態は。

③中学校における就労体験学習の現状と今後の方向は。

④若者ボランティアをさらに

児童性



常松大介議員(緑ネ) ①4月1日現在の、保育園定員の充足状況は。

②待機児童数の推移は、例年と比較してどのような状況か。

③入園希望者の多い保育園は、通園手段を把握しているか。

④保育園の行き滞りにおいて事故等は発生しているか。

⑤安全対策はどうか。

市長 ①公立及び私立の認可保育所18施設は定員は千八百66人で、定員弾力化の対応を含めた入所児童数は千八百66人である。

②平成13年度から減少に転じ、

▲さあ、おうちに帰ろうね(保育園前)

市内保育園の通園状況

岩本博子議員(緑ネ) ①センターが果たす役割は。

②民間委託のメリットは。

③行政が担う役割は。

④他の子育て支援関連機関との連携は。

⑤子育て支援のネットワークをどのように考えるか。

市長 ①従来の保育サービスでは対応できない柔軟な育児サービスを行うことなどである。

②保育等の専門的知識や豊富な経験を持つ職員が確保できること、既に市内でほぼ同様の事業を行っている団体が参加できる可能性があることである。

③委託先の業務実施状況を的確に把握し、業務が効果的に実施されるよう配慮していく。

④子ども家庭支援センター等と連携を図り事業を進める。



子ども議会、女性議会の開催

原 邦彦議員(公明) ①魅力ある市政を築くために子ども議会や女性議会を開催し、より多くの市民の意見や提案を受け

ることが、有意義な取り組みと考

えるがどうか。

②子ども議会を定期的に開催してはどうか。

③女性議会を開催する考えは、市長 ①タウンミーティングや市長への手紙もあるが、意見や提案をもらう機会はできるだけ多く設定したい。

②今後、市制施行50周年記念事業の1つとして検討したい。

③小平市女性のついでによる議員懇談会や、市長懇談会が継続的に開催され、意見交換も積極的に行われている。また、懇談会も定着しているため、現在のところ考えていない。

ファミリーサポートセンターと子育て支援ネットワーク

岩本博子議員(緑ネ) ①センターが果たす役割は。

②民間委託のメリットは。

③行政が担う役割は。

④他の子育て支援関連機関との連携は。

⑤子育て支援のネットワークをどのように考えるか。

市長 ①従来の保育サービスでは対応できない柔軟な育児サービスを行うことなどである。

②保育等の専門的知識や豊富な経験を持つ職員が確保できること、既に市内でほぼ同様の事業を行っている団体が参加できる可能性があることである。

③委託先の業務実施状況を的確に把握し、業務が効果的に実施されるよう配慮していく。

④子ども家庭支援センター等と連携を図り事業を進める。

⑤市内の子育て関係機関により、児童虐待を防止するネットワークを構築する予定である。

子ども議会、女性議会の開催

原 邦彦議員(公明) ①魅力ある市政を築くために子ども議会や女性議会を開催し、より多くの市民の意見や提案を受け

ることが、有意義な取り組みと考

えるがどうか。

②子ども議会を定期的に開催してはどうか。

③女性議会を開催する考えは、市長 ①タウンミーティングや市長への手紙もあるが、意見や提案をもらう機会はできるだけ多く設定したい。

②今後、市制施行50周年記念事業の1つとして検討したい。

③小平市女性のついでによる議員懇談会や、市長懇談会が継続的に開催され、意見交換も積極的に行われている。また、懇談会も定着しているため、現在のところ考えていない。

掲載分以外の質問項目

【行政一般】

市報の配布方法見直しについて

【産業振興】

商業情報化推進事業の評価について

【防災・安全】

災害時のトイレ対策について

【環境・上下水】

市民菜園や生きがい菜園、児童農園などでの農薬の使用状況について

市議会の構成

◆本会議

◆委員会

常任委員会

総務

生活文

厚建

教生設

議会運営委員会

特別委員会

(必要の都度設置)

【環境・上下水】

市民菜園や生きがい菜園、児童農園などでの農薬の使用状況について

市報の配布方法見直しについて

【産業振興】

商業情報化推進事業の評価について

【防災・安全】

災害時のトイレ対策について

【環境・上下水】

市民菜園や生きがい菜園、児童農園などでの農薬の使用状況について

市議会の構成

◆本会議

◆委員会

常任委員会

総務

生活文

厚建

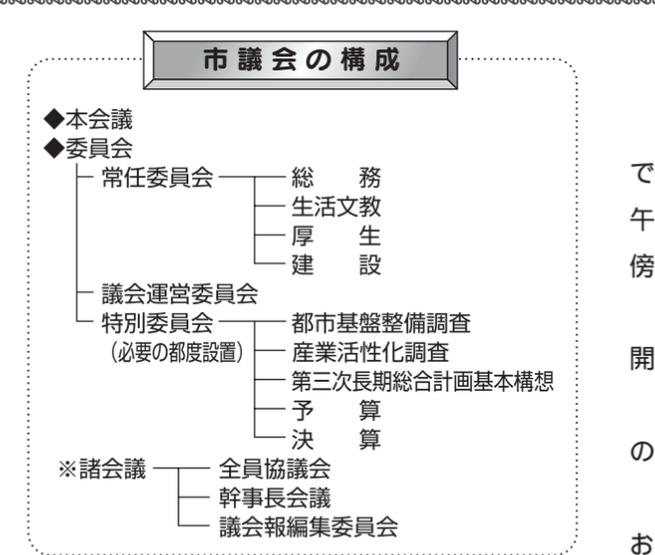
教生設

議会運営委員会

特別委員会

(必要の都度設置)

議会を傍聴しませんか
本会議と委員会はだれでも傍聴することができます。議場の傍聴席は60席で、会議当日の午前8時30分から市役所7階の議会事務局で傍聴の受け付けをしています。
定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回開催しており、開会時刻は通常午前9時です。
委員会の傍聴席は30席で、傍聴手続は本会議の場合と同じです。
会議の日程等詳しいことは議会事務局までお問い合わせください。(☎042 - 346 - 9566)



市議会の詳しい内容は「会議録」で
議員からの質問や市長等の答弁など、本会議や委員会で論議されたことはすべて会議録に記載され、公開されます。市役所1階の市政資料コーナーや市内各図書館でご覧いただけます。
また、小平市ホームページからでもご覧になれます。ホームページアドレスは8面下段をご覧ください。